

NO 852 BASTOS 2 de SETEMBRO O PROGRESSISTA REG. N. 4576 S. PAULO A. P.

バストス週報

第八五二号
昭和四十一年
九月二日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. POST. 112
FONE. 40
BASTOS
C. P.

ANUAL
C. R. #
4.000

青嵐 33

法主巡化私考

本年八月中旬京都東本願寺法主大谷光
勲氏が再度渡伯をされるという通知が聖
南米本願寺に入り、末寺にまでその報
せが行きたわったのは昨年十二月頃で
あった。
つまり約十年の期間を置いて前職れが
あったわけである。
聖市本願寺本部に於ては、手落ちのな
いようには、法主をお迎えするたためにお
待受態勢の方針を定め、各末寺にも同様
お待受け準備委員会(会)なるものを作ら
せ、歓迎準備に萬遺漏なからんことを期
した。
法主渡伯の目的は聖市本願寺落慶式親
修が第一で、地方に散在する同派末寺を
歴訪するのが第二である。
こと大谷家は皇室と深い因縁関係に
あるので、天皇御夫妻から在伯同邦に賜
う御親書なるものを持参されたが、これ
はタイムミングという点からいって最も賢
明なプレゼンテーションである。
政事家、学者、経済人等多くの訪伯人
が、よくなし得ない紀事(三)をおたよ
りしを、お土産にもつて来ることが出来
るといふのは大谷家の家宝でもあり特權
でもある。

よその事は寡聞にして耳に入らぬが、
當地だけのせまい範囲でもこの法主夫妻
歓迎に関するお待受態勢なるものは約半
歳にわたり、門信徒にとつては少なから
ぬ精神的負担、負担といつて悪ければ緊
張の連続であった。
第一に「金」を作らねばならない。接待
費や当日の雑費だけならともかく寺院の
改修もこの際して置きたい、便所も水洗
式に改めたい、舗装道路にも金がかかる
、と八方に気を配ると三千や四千の金で
はおつかなかくなる。
寺院内部だけでも内陣を区切る扉の新
設が大変だ、外部の塗装費にも五千コン
ト位かかる。

敷地の外柵、排水舗装、その他寺院内
外の改装費だけで悠に六千コント以上か
かる。尤も金額の点は、私しは門外漢だ
から正確なことは知らぬが、ここでは大
そう費用がかかること、の指示だけの意味
である。その外に当日の送迎費、接待費
及び、各僧侶への布施などを加算すると

御宴會と御仕出し

和洋御料理

御食事に

御泊りに



Hotel "Ussami"

バストス

ロードビアリオ前

RODOVIARIO de Bastos



電話 二二二番

Sapataria Bastos

どんなに古くなっても
型のくずれない靴

紳士の
身だしなみは
まず
靴の美しさから



FONE. 55
早川靴店

一万コント内外の金がかかっていゝる筈で
ある。もつとも、寺院内外の改装費は今
日までの手を抜いていたのを完成に導いた
のだから、法主の来訪とは無関係に考
えてよいものだが、やはり貴紳上堂の訪門
を受けるとなれば、破れ損を修理したく左
の人は人情である。
寺院としてでは当然のことだし、法主の

巡教によつて一挙に完成に変入したのであるから、これは上出来といつてよいのである。

十四年前光暢法主がお東方と当地へ巡錫へ布教された時は、勿論バスターズに手配はなかつた。バスターズだけでなく、今回巡教されたプルデンテ、イラプル、アラサマンチ、ツパン、マリリヤ、はなかつたと思ふ。

伯 各所に寺院が建立されたことは、いふまでもなく、光暢法主の法力と無論実質的には各地各地で有志たちが建立に奔走したものであるけれど、精神的な号令をかけたのは法主である。

彌陀の金堂が出現し、その金堂に自ら足跡を、かえり見て、いかにかりの感慨にふけられたことであらう。

やはり法の力というものは偉大である。東西本願寺が、法主を通して海外に進出した点は本願寺教史の一頁に大々的にのこる一大事業であると信ずるものである。

八月十九日(金)法主一行がバスターズに來られるのは、十一時といふことであつた。實際は一時間近く遅れた。法主の感

冒がこじれたためであつた。元來蒲柳型で、しかも可なり老令であるから長い旅行中には風邪も引くだろう。

よくそれに堪えて使命を遂行されるものよと感心してゐる位だから、一時間位の遅刻でバスターズの行事が恙なく執行されれば結構である。

法主歓迎会の夕、法主は病氣をおして出席され、ごく短い挨拶をしてすぐ退出されたが、お東方の聲樂が拝聴できなかつたこと残念であつた。

かたくりしい法要、誦經のみの寺の中え近代の合唱団を作られたことは仏教の近代化として当然なされたければならぬ。

ない筋道ではあつても、低い地位からの発言は中々用いられないものがある。お東方の救いがたい陋弊の世界であるから、観ある佛教殿堂に放つ五色の光彩であり、立派な業績として推賞したい。

その合唱団はさくよしもないが、お東方の代りに、佐々木随員が美しいバスで一二曲歌つてくれた。

本願寺などという封建的世界の遺物の中に、近代合唱団の歌声がきこえるのは、何といつても明るい試みである。

バスターズの寺院にもぜひ合唱団を組織して、お経ならぬ讃歌や、上品な歌謡を

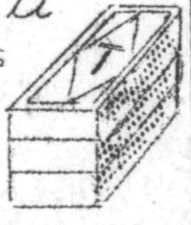
歌うようにしたらどうであらうか。法主の奥地巡化は門信徒にとつては正に福音であつた。

そして、その福音を「みほとけ」の、ありがたい「たより」として、そのまゝうけ得る人が一人でも多ければ、御巡化は成功だつたといえる。

これは余談にわたるが、法主一行の車がロードワイアリオに到着すると盛んに花火があがり、中学生のバンタが鳴りひびいた。盛んな歓迎ぶりに見えた。しかし私は遠慮なく云つて、楽隊はつまらぬと思つた。楽隊そのものをかかれこれ云うのではないが、宗教家を迎えるには不要な礼儀ではないかと思ふ。十四年前もバンタが先行して法主夫妻は徒歩でこれに從つて、宿舎石橋邸に入られたようである。隊入りで迎えたというのに、こぼれは、隊入りが、何かそぐわぬものを感ずる。

歌うようにしたらどうであらうか。法主の奥地巡化は門信徒にとつては正に福音であつた。そして、その福音を「みほとけ」の、ありがたい「たより」として、そのまゝうけ得る人が一人でも多ければ、御巡化は成功だつたといえる。

Olaria Taniguti
C. POSTAL 167 RINOPOLIS



オラリア
白色硬質レンガ

建築・ムーロ・井戸用

御注文の節はリノポリスC.P
イ67へねがいます
電話番号は次回おしらせ

字で書いた漫画
角 棒

ある大学の騒動。おさまりかけたと思つた矢先又ふりかえし、それそれ角材と棒切れを手にした学生が殴り合う。ある人、おさまりかけた。これはまた学生らしからぬ振舞。何のためにこの大学に、つたぞ。とたしなめる。学生答えて曰く、角材に、おさまりかけたぞ。

お高い
聖市のさる天人。着る物にかかつて食べる方は格別つましい。レポリヨの値がさがつたとき、市場へ買いに出かけた。折悪しく前日の霜で野菜の値がハネ返り。安値どころか、とて手が出さな。ファンガイレて曰く、「何さお高くとまつて」

別れ来て、おさまりかけたぞ。西木一ツ
牛尼陽子

訪日見聞録

九州観光

熊本城下見物

小澤 勇

熊本市は九州中部の雄都森の都と見え
 去られる、落ち付の内に活気溢れた町で
 ある。タクシを拾い熊本城に行く。
 内堀をへたてた大広場に車は止まる。
 タクシは自家用車、バスは何十台止って
 いるのであろう。ドンシリとした大天主
 閣三棟が並んで冲天に聳えるのを一望に
 治めた時、嗚呼、流石は名将加藤清正の
 築城なるかなと思わず、讚嘆の声を発した
 。内堀の水は大阿蘇に源を發する白川カ
 清流を引入れ、全山楠の大木の新緑に包
 まれ、其の中に点々と爛漫と咲き乱れる
 桜花に色どられ、人工美の名城といやが
 うえにも引立てられている。
 玉砂利の敷きつめられた広い道を城門
 に入れば、桜の大木の連続であり、其の
 中に樟が混植されて花吹雪の中を天主閣
 の向う側広場に出る。
 それが正面となつて居て広場の周囲も
 桜と松の美しいやに、眼下に熊本全市が
 俯視せられ、春霞を通して遙かに市の周
 辺の山々を遠望する。

天主閣には、幾多国宝級の参考品が陳列
 されておられ、思いを遠く戦国の代に走せ
 る。又、西南の役に列る。此の城の周辺の
 樟は、万一籠城の場合蔭が欠乏した時、
 生みのまま燃える樟を使用する為めであ
 る。又城内に敷く敷物もその準備として
 ズイヤワラビを織りなして、莖の代用と
 したとか、他は推して知るべく、かの明
 治十年の役に、名将谷于城がよく薩軍を
 一手に引止め、官軍勝利の基となつたの
 も、この城であつたからだと察せられた
 。水前寺公園前に下車すると、公園の入
 り口までは両側とも美しい賣店が軒を連ね
 、雑踏する客脚を停めている。
 一軒のレストランに入り、晝食を摂る。
 広い店内は満員であつたが、鳥籠を三つ
 釣つてあり、中には各鶯が美声を競つて
 念がこみあげる。公園の由来書には、水
 前寺公園（成趣園）
 熊本市の東にある名園で、阿蘇山の伏
 流が豊かに湧き出している池を中心にして
 山々岩、柏などを巧に配置して四季を問
 わず、市民のこまなき憩の地となつてい
 る。
 三百年の昔、肥後藩主、細川公が初代
 から三代にあつたつて築いた、代表的な桃
 山式庭園で、成趣園と云うのが、古来の
 よび名である。

B-300 Babcock

世界的經濟鶏



BAEBCOCK
HEALTHY
Chicks
TRADE MARK

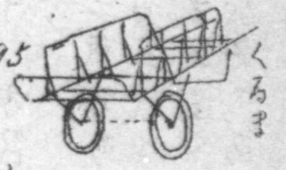
池のほとりに細川幽斎公が、後陽成天皇の皇弟桂宮智仁親王に古今和歌集の秘伝をお伝えした。古今伝授の間がある。大正元年に原形のまま建てたもので、桃山風茶亭として知られている。夏目瀨石の句に「しめ縄や春の水湧く水前寺」と云うのがある。中にも東海道五十三次を模したと云れる築山の左端は富士山を型どったものであり、池畔に茶の野点を築きおむも一興である。か、観光の客あまりにも多く、清らかな水面に浮ぶ白鳥に心を慰められて此処を辞す。

本妙寺は、日蓮宗の九州総本山で加藤清正公の菩提寺で、仁王門から数百米の両側は清正公輩下の菩提寺四十余の寺が並び、正面の小高い所に本妙寺があり、その背後の山上に清正公の大銅像が鎌型槍を小脇に、立烏帽子の勇姿が中天高く聳えている。道の両側は桜並樹が爛漫と春をたたえ、花吹雪を参拝の人の頭上に舞い、香煙は絶えぬ霞をたなひかしていた。車は遠く田原坂に向う、熊本城の兵士の行動を遠望できなかったように道を広くして造られたと云う。

大道路は其のままアスファルトを敷きつめられて居り、桜や桃や街道の花が美しく点在する中を車は飛ぶ様に疾駆し続け、坂の上を達した。此処は公園となつて居り、明治十年の西南の役決戦場であり、乃木將軍が当時小尉で旗手であつたが、薩軍に軍旗を奮わられた所でもある。當時を記念した大記念碑には細い文字で激戦の様を刻まれてある。明治十年西南の役決戦者慰霊塔は当時賊軍として祭られたなかつた、薩軍將士を主体として建設された大塔で、高く空中に聳えている。

野外音楽堂の近くに記念館があり、当時の兵器、弾丸や、将兵の寫真などが、所狭きまでに陳列されている。無料休憩所と並んだ賣店に行くと一人の老人が、遙か下方の鉄路の方向を指し「つ、当時の激戦の有様を明細に説明してくれだ。此の戦は官軍四千数百、薩軍三千数百、三月三日から二十四日迄で、両軍の死者一万三千、補充のない薩軍の負札となつた」と。

隣接の弾痕の家に案内せられたが、当時のままの家屋の壁や柱に喰い入つた銃弾は、激戦の様を物語るに充分であり、屋内に陳列された銃剣刀槍は、両軍の死斗を物語つて、見る人の心を慄然たらしめる。慰霊塔前から西北方、木葉山を望めば、白雲去来して悠久の春が往時を夢を偲は



車車車

リヤカー給桑車集卵車散撒車
人力を排し合理的なそれぞ
れな仕事に應じた車を使つ
て能率をあげましょう
其他車の事なら、どんな型でも製作いたしま
すから

御相談においで下さい

アルミのトルネーラ

マンゲトラに差込むだけで
プロント

ねだんが安い

酸化しな

適量に水が出ます

GORO ABE

製造元

阿部五郎

Industria Agricola de Bastos
Adhemar de Barros 95
FONE 28 C.P. 127

熊本県庁と川を隔てた城近くの憩別荘に宿をとつたのは夕時せまる頃であつた。城の百間堀は幾多の水銀燈に照明せられ、川辺の咲乱れた桜花と共に不夜城の美観を呈している。

夜七時頃孫の長男が訪ねて来た。三月二十九日、八代市付近は蘭草の栽培、この外多く、広い平野が緑の蘭草、黄色い菜の花、赤い紫雲花と織りなす綾錦が遠く春霞に包み去られては又あらわれ

球磨川の清水で醸造せられたシヨウケウ、房の露は日本一である、乗客の自慢話を聞きながら、肥薩国境の三太郎峠の大トンネルを通過すると、所々に松林が焼かれた所があるのは、戦後発生した松喰虫の駆除の爲だとか。

松喰虫の駆除の爲だとか。マツノアツシに、ビニールの覆いがしてあるのは、煙草の栽培加してある。みなまた駅の近くには空中室素採取の大工場がある。海岸の美しい風景を眺めつつ進むと出水駅に着く。鶴の大噴水が見えるので、乗客のひとりに聞くと、此の辺一帯鶴の渡来地で、一時に数千の鶴が飛来して農作物を荒すが、保護鳥であるため農家は閉口するとの事である。

以上五号へ

Temporo de Alto Qualidade 999%
 Glutamato de monosodio 999%
SUPERAGI



聖市ルアガルボンブエイトノ二二番七階

発売元 遠藤貿易株式会社

万人向き豚饅頭
スーパー味
 たべもの屋めぐり

「若祥記」

やきいもさえ百円で買う世の中に、一個十円でたべさせるのが単位の豚まんジュエ屋がある。創業は大正の初期、今は二代目、吉田健一氏を案内したら吉田氏が少年期に経験した北京流とは味つけがちがうが、ふくらしめたは全く感心とほめられた。中の豚のミンチと玉ネギの味が皮へしみこんで、全体を美味にする。あまり、からしを付け過ぎると、その微妙なところ逃げる。皮はもちろん小麦粉だが、イーストやふくらし粉なしでふくらしてある。此処がポイントだ。

材料がなくて献立にお困りですって？ それではあり合おせのお野菜、お豆腐などで鍋料理にたさげれます。スーパー味の調理はお子供さまにもよろこばれます。

スーパー味はどこのお店でも売っております



寄稿

足跡 (六)
 菜ッ葉服 福 瀧 温

バスト又製系工場での私の仕事は当分銀治屋さんの助手であった。鉄管工事から、大工仕事、左官仕事と何でもやらされた。

これは上田主任の方針で、何でも出来るように、何時何の部門へ廻しても間に合うようにとの考えから、私に限らず、誰でも同じ事であった。

茶ッ葉服を着て、頭にレンソで鉢巻して、明けても暮れても管切り、螺旋作りであった。蒸気も水も皆発電所から引ッ張って来る為、可成の仕事であった。

八月に入ってからと日本から緑系機一式が到着した。長野県岡谷の製作所製であったと思う。それから緑系機の据付けの仕事も活気付いた。緑系開始に備えて次々に従業員が増えて来た。

据付の責任者はブラタクの囑託で坂間源造氏で、氏は横浜高工出身の技師であつたが、未知の機械と取り組む為め、仲々思う様に行かず、青写真と睨ッこであ

あでもない、こでもない、と、苦心して居られた。其の下で坂本メカニク、中崎大工さんが居て我々が手傳っていた。蚕種部は現在のブラタク製系バスト工場支配人の谷口章氏であった。氏は京都の高等蚕糸学校(當時日本に高等蚕糸は三ヶ所式であったと記憶してゐる)出身の技師で、其の技術は確たるもの、後年私は、政府直営のキャンピナス蚕種製造所の主任技師ドットル、マリオガルネイロ氏から直接、ブラジル内谷口の右に出る技術者は居ないと聞いた。

其の下に来住野隆平君外、養蚕部に指導員として鈴木清人氏(故人)あり、ウニオンの入口の所に試験場があり、日本から来た桑苗の繁殖、適否の研究、並に原蚕飼育に當つていた。私は乾荷部にあり、煮荷部に今泉達助氏、再緑部に古沢市次君、東系整部部に上田剛平君、永吉正光君等と揃い、緑系部教婦に竹下真真館氏が入られた。現在ブラタク製系に居る藤井光雄君は何処で働いて居たか判然とした記憶がない。或は中村君等と一緒に乾荷部に働いていたのではないかと思うが、始終、シヨウ、シヨウと舌を叩いて居たのを覚えてゐる。

何の事かと不審に思つていたら、藤井君は、喰いねえ、喰いねえ、壽司を喰いねえの江戸ッ子で、畜生と言つのが口癖で、それを江戸弁の巻舌で云うものだから、畜が口の中で消えて、生だけが聞えていたのである。

緑糸部の配荷係に高木幸雄君という、十才位の子供が居た。寿々木米若の佐渡情話が十八番で皆に煽てられて良く吟つていた。小さいのに全く上手であった。

其の外従業員には栗原さん、松下、島田、山崎、皆川等々の青年諸君が居たが、これらは全部一緒でなく、入れ替り立ち替り移り替つて行つた者が多く、今は何処に居るのか全く不明の者もあり、他界せられた人も点々ある。

機械の据付が仲々捗らないので、上田氏は待ち切れず、乾燥場の裏に突き出しを作り、女工さんを四人程入れて、足踏式で緑糸を始めた。

小鍋で苧を焚いて緑糸する原始的なものである。この糸で襪を織る可く、乾苧場の隅っこに手織機を一台据付け、此の部門に河合清一郎君(故人)が来、又、染色に経験があると言つので、栗原久治郎氏?の処で苧を洗して居た森谷吉五郎氏と言つて人を招いて、二人に研究させられていた。

森谷氏は正式の従業員でなかつたので、給料が拂えず、其の代り、青年が手代りとして苧の仕事を手傳い行かせられた。森谷氏一日に對し、我々二名が出張と言つて、暗い中から度々出かけたものであった。

其の中で織物部は上田氏個人の経営になり、逸崎君、駒沢君外多勢が働く様になつた。ブラタク製糸工場は益々隆盛の一途を邁進で行つたが、上田織物工場は色々の事情で解散して了つたのは残念な事である。(未完)

御礼

去る八月十日ランシャリア道付近に野火発生の際は、多数の方々の御尽力にて消火、大事に到らず、おこたひありがとうございました。御名前が判明しませんが、失礼下ら紙上で御礼申し上げます。

各位
ウニオン 2 區

あとろき

本年入植祭演芸会勸進元で扱つた、花の数は何と一千四百五十袋、中味は不明だが五千コントは下るまいとのこと。

バス入開拓三十八年

入植祭に寄せて

在聖 落龜作市

われらがふるさと開拓の歴史は三十有八年、戸数は三分に減じしも、文化は他郷に比類なし。

このバストスを離れ住む、聖市との距離も今ははや、高速道路を駆すくるま、汽車より迅し八時間。

ふる里バストス訪いくれば、必ず詣る聖墓地に、眠る開拓先駆者の、墓標は三千有余柱。

先祖と祀る奥津城に、頭をたれて祈るなる、身心洗われし如くにも、清掃されて塵もなし。

燭の灯並み立つ慰霊祭、衷心ささぐる焼香や、参列したる群集の、唱和の誦経いや高し。

盛沢山のプログラムに、移住建設畑中翁の、遺徳を永遠に傳うべき、胸像建立の除幕式あり。

大使総領事領事殿、宮坂京野藤井氏に、各新聞社の報道陣、胸像除幕式はおこそかにして。

白布の前に整列す、除幕の紐ひく修子刀自、いませし日のまの畑中氏に、絶讃の拍手胸像をゆるがす。

若手時代だ前進だ、マイクを握じて司会する、けに若駒の小林君、気概あふるる声たかレ。

思出で多き演舞場、男子の意気や熱さめて、婦女子がかわりし好演技、芸の閑所に拍手をおくる。

FATECの新製品

合理的飼料配合は

POLIMIX ポリミックス

病気の予防。ストレスの解消には

PANFRAN パンフラン

完全消毒殺菌は

ORTOZOOLO オルトゾール

REPRESENTANTE YASUHIKO KANKE

RUA 10 DE NOVEMBRO Nº 446 % BASTOS

RUA MARTIN AFONSO Nº 64 % 1273 P.VENCESLAU E.F.S.

RUA JOSE BONIFACIO Nº 278 2º AND % 208
% 9196 S. PAULO

名作鑑賞
不^レ如^レ歸^レ (徳富蘆花)

命、あらずじ。日清戦争直前の險悪な雲行きの中で、遠洋航海前の寸暇を見つけて、海軍少尉男爵川島武男は新妻の浪子と伊香保でわらび狩を楽しむ。死んだ武男の父は鬼島令といわれた男だが、武男の情は厚い、さつぱりした好青年だ。その笑い声までが、自分を可愛がってくれる父の片岡陸軍中將にそっくりだと、浪子はうれい。浪子は幼いとき、母に死に別れ、万事に控え目な性格である。英国に留学して西洋流に積極的な継母とそりがあわず、日陰の花のように暮らして来た。福の光を浴びているのである。武男が長しかり、幸福は短かすぎた。武男が長い遠洋航海からやつと帰ったときには、浪子は肺結核で倒れ、返子の片岡家の別荘で病氣療養中だった。「浪さんが亡くなれば、僕も生きさちやおらん」と永遠の愛を誓い、片割月が松にかかると、心を残しながら武男はまた海へ出ていく。その留守中、病気の伝染を恐れた武男の母、浪子を一方的に離縁してしまう。

帰国してこれを知った武男の絶望は、かたし。日清戦争の大渦に巻き込まれてしまった死を待つばかりである。戦争が終つて、父が哀れんでさせた最後の京都見物のあと、浪子の容体は急速に悪化した。「あつらい！もう女なんぞに生れはしない」と、身をまだえ血を吐きながら浪子は息を引きとるのだ。戦いながら浪子は息を引きとるのだ。浪さんを出るとき、浪子に「おれは、浪さんとあつた。この夫との間をさかして、何の生る楽しみがあるか。死のうしろと、浪子はこの手紙をしつつかと懐におさめ、永遠の愛を誓いあつた返子の岩に立ちのぼる。雲は雲と相追うて空を奔り、海は眼の届く限り一面に波と泡と真白に煮えかえりつ、嵐ほえ、海たけり、山も鳴りて、浩々の音天地に満ちぬ。浪子はくたえりつ、波に身をまかせようとして、中年の婦人に抱きとめられる。「豆知識」浪子は肺結核で倒れ、返子の片岡家の別荘で病氣療養中だった。「浪さんが亡くなれば、僕も生きさちやおらん」と永遠の愛を誓い、片割月が松にかかると、心を残しながら武男はまた海へ出ていく。その留守中、病気の伝染を恐れた武男の母、浪子を一方的に離縁してしまう。

終

AVISO DE INCUBADOR

SEC. GLORIA II BASTOS

MIZUMA

御知らせ

此の度皆様の御協力により、孵化場を創業致し
九月初旬より運転の運びとなりました。たから何
卒皆様の孵化場と思召して、気安く御用命下さ
る様お願い申し上げます。

敬白

一九六六年八月二十五日



皆様、来年度の育雛計画には、当孵化
場が責任を以てお奨め出来る、全伯
養鶏家待望の鶏

赤玉の女王ハルコセックスリンクをお選び下さい

ハルコは温順強健、多産大卵、卵殻強靱
卵質卓絶、そして経済性の高い事は
絶対の追従を許しません

分譲は

◇一九六七年四月より



御申込は直接

または

丸山

敦

バストス・グロリアII区

水馬孵化場

8

御禮

去る八月十九日東本願寺御法主台下並にお裏方様をお迎えして盛大な宗祖御遠忌と、バストス先亡者特別吊悼法要厳修に当り、皆様の御協力により、恙なく完行出来ました事を厚く御禮申し上げます。

又文化協会では他に比類なき盛大な歓迎会を開催していただき誠にありがとうございました。

御一行には大変お喜びで御ございました。尚お二方様には御休養を。くブラジリアに大統領を御訪問以来、毎日強行御巡化の御日課で相当御疲弊の模様でございましたが、バストス御出発の折（二十日朝）は幸い御回復に相成り、各位の御健康と繁栄を心より祈る旨、お言葉を残されました。

本当にありがたいことで、茲に謹んで皆様に御伝え申し上げます。空前絶後の最高行事の勤行相成りましたことは、ひとえに皆様方の物心両面の御協力のお蔭と、厚く厚く御礼申し上げます。

何分未経験と多忙のため、不行届、手落のありましたことを深く御詫び申し上げます。

一九六六年八月二十五日

バストス南米本願寺在勤

寺院総代

小 林 志 願
山 根 三 郎
豊 島 喜 藏
奥 山 忠 藏

皆々様

御禮

去る八月十九日、当寺に東本願寺御法主御夫妻を迎えて親鸞聖人七百御遠忌並に、バストス先亡者特別追悼会を執行致しました節、左記の方々より多大の協力を戴きまして誠にありがとうございました。

バストス日伯文化協会様より
ブラタク製糸株式会社様
バストス養鶏組合様

松声機一式
家具一揃及び炊事道具
エンゼラード、メザ、カティラ

拝借
拝借
御提供

グロリア区青年団様

御見送り自動車

御提供

小 田 服 店 様

白パン三十脚

御提供

小 林 正 名 様

客間セット拝借並に送迎用自動車御提供

御提供

小 林 平 行 様

御門跡 御宿舎

御提供

太 田 衛 行 様

御門跡 御宿舎

御提供

宮 内 武 勝 南 様

随員 宿舎

御提供

山 内 武 勝 南 様

随員 宿舎

御提供

豊 島 重 幸 様

御見送りに給仕

御提供

尚、多数の方々より白米、野菜、果物、鶏、鶏卵等を戴きました。

フルデンテ、お迎え自動車

御提供

茲に厚く御礼申し上げます。

八月二十五日

御提供

バストス南米本願寺

法要

執行委員

一同

老人の林ごと

半年ほど前に聖市で金伯青年辨論大会があったが、或る青年の講演の内容がいかにも封建的日本精神うんぬんだと云い、また誰かに原稿を書いてもらって、それをパバカイオ式に繰り返したに過ぎないと、審査員からして新聞に座談を發表した一員は衆知の通りだが、これをまた尻馬にのつて紙上に書き立て、攻撃する者が次々と出たが、これが日本人の悪い癖で、この人の尻馬を遡うくどうい嫌らしいこと、け無いと思うが、どうであらうか。

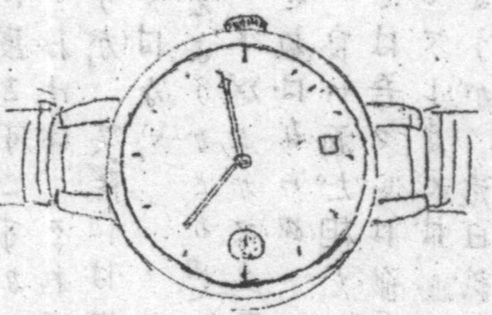
この問題だけではない、昨年、日語教科書の出来がわるいとか、まちがいがあるとか、さかんに書き立て、さも自分の学識をひけらかす、さぞお奴が多い。教科書にわるい所があるなら、編集者に手紙で注意したらどんなものであらうか。日語教科書の場合には、編集者が置位もまた度量もあるからよいほうのもの、辨論大会で攻撃の矢面に立たされた青年こそ実際に氣毒だと思ふ。もし、自分の子供があのよう

に槍玉の攻撃をうけたら、どんな氣持がするであらうか。愚老なら今後自分の子供が出場すると言つても止めるであらう。辨論は自由であつて何を題として演じて、政事問題さえとりあげなければ良いと思ふが、全伯大会では審査員の氣に入らぬ内容を話さなければならぬ。それとも、その青年が此の國に思ひがかりぬ思想でも宣伝したといふなら話は別だが。

愚老はつくづく思うのであるが、近頃知識人顔をする人は日本精神といえは、毒蛇でも見付けたように毛ざらにするが、日本精神のどこかをんなに思ひのであらうか。あるが仁は軍人精神がイカヌと言ふ。それほど戦争がさらいでも、世界中で原爆とか、水爆とか、ミサイルとか云つて核兵器の競争時代だが、なんぼ戦争さらいだと云つてもこれに製造中止さして来てからでなければそんな事は言えまいと思ふがどうであらうか。こんなおごつたを言うともまた此から礼をからへ、この辺で止めておこし。

RELOGIARIA TAKATA

各種腕時計めがね



高田時計店
電話九十三
貴金屬
バストスロードピアリオ前

句会御案内

日時 九月 四日(日)夜七時
場所 織田糸音 居
兼題 霜・鳥帰る(鳥雲)
若草・通して八句
新人の御参加を 歡迎いたします
(会費不要)

にがじうり

ピンガ飲むな

お酒のむななという歌があるが、日本のお酒は醸造酒だから酵母菌もあり、のんで言にならぬところが、いくらか栄養にもなる。先日バウルから古雪俳人が遊びに来て、一席酒談義をふった。座にもう一人私のクニヤドが居て三人でビールをのんだが寒い日なの少しも酔わぬ。クニヤドは、わしやピンガの方が余程よいとピンガをのみはじめた。古雪が云うにはセルベージヤも酵母菌を使

Aviso de Cine Bastos

二木立

八月三十日(火)三十一日(水)
 松竹 土砂降り
 東宝 女の座

任田啓二
 田田まり子
 高峯秀子
 司葉子

團令子 草留光子
 星由利子 三益愛子
 リーブル

九月二日(金)三日(土)
 東映 にっぽん泥棒物語

History de um laborado
 三田連太郎
 佐久間良子
 伊藤雄之助
 江原真二郎

九月四日(日)五日(月) 四日は九時二十分より、五日は八時より

松竹 皇太子御夫妻メキシコ訪問

日露戦争から大平洋戦争
 まで連続の未公開フィルムを鑑賞

九月九日(金)八時 十日(土曜)九時二十分

毎日映画社製作
 日活株式会社配給

血戦記録 堂々二時間

九月十一日(日)九時半(十二日(月)八時)

鷗洲園子 久保菜穂子
 團井啓介 待田京介

松竹 三味線とオートバイ

桑野みゆき 森雅之
 月丘夢路 川津祐介

笑と人情の明朗編

リーブル

った醸造酒だから身体に害をせぬ。とこ
 ろがピンがは丸だしのアルコールだ。何
 の益にもならぬばかりか、胃から腸、肝
 臓に到るまでさんざんに荒すからやめな
 さい。吾々の仲間がいかに多くピンがで
 命を失っているか知っているだろうか。び
 ん棒時代には日本酒やセルベージヤきの
 みたくても、めなかつたから仕方なくピ
 ンがでがまんしたんだ。もう今ではお互
 いセルベージヤ位のゆるゆるになつたん
 だから、ピンがはやめようや。と盛ん
 にピンが飲むな、ピンがのむなと説教す
 るのである。
 っレやというてピンがでなけりや酔わん
 がな。とクニヤードが抗議するのであつ
 た。実際その通りで私などもこうして客
 人があればセルベージヤでも出すが、一
 人の時などピンに限ると思つてゐる。
 殊酒などにセルベージヤなど飲もうも
 のなら夜半に目が醒めて小便。というこ
 とになり、日本酒だと東きりく一本はか
 るく一本の人で、まッて少し足りない
 ところがピンがだとカリスに五六はいの
 めは陶然となるので、どうしてもピンが
 の方に手が出るのである。
 古雪の話も、しかし理のある話で、ピ
 ンがをよけいのにむと腸をアタツカする
 ことがわかつている。
 数日前、パ紙にアラジルには精薄児が

多く世界で三番目とか書いてあつた。そ
 の原因は胃がピンがをがぶがぶ飲むせい
 である。ピンがは安くて、酔がよく廻り
 酔めない内に製造にとりかかるからだ。
 いっわつてある。
 私みために老令の者はその心配はない
 が、胃腸系統に負担をかけることは、たし
 かである。酒量というものは人によつて
 ちがうから、コップ一はいでやめる人と
 ニハイのまねは満足しない人がある。ピ
 ンがが悪いのは度さすこすからであつて
 控へ目の人でおけば、それほど害にも
 なるまいと思ふが、実際には控へ目でも
 められるものではない。
 日本酒に替へようかとも思うが一度に
 一本だと一コント以上がススするのでふ
 ところと相談せねばならぬ。ウイスキー
 は最も、からだに良い酒だ相だが、一本三
 コントもしては吾々には破産ものだ。
 いっそ禁酒してしまへば、ピンがの悩み
 も解消してしまふが、先日試してみなが
 虚脱状態になつてしまつて仕事など手に
 つかない。
 やはりピンがに命をとられる方の側で
 あるらしい。だが若い人はピンが飲むな
 と古雪の受けうりをして注意しておく
 (月を見る火酒は一気心のむべかり)
 念版